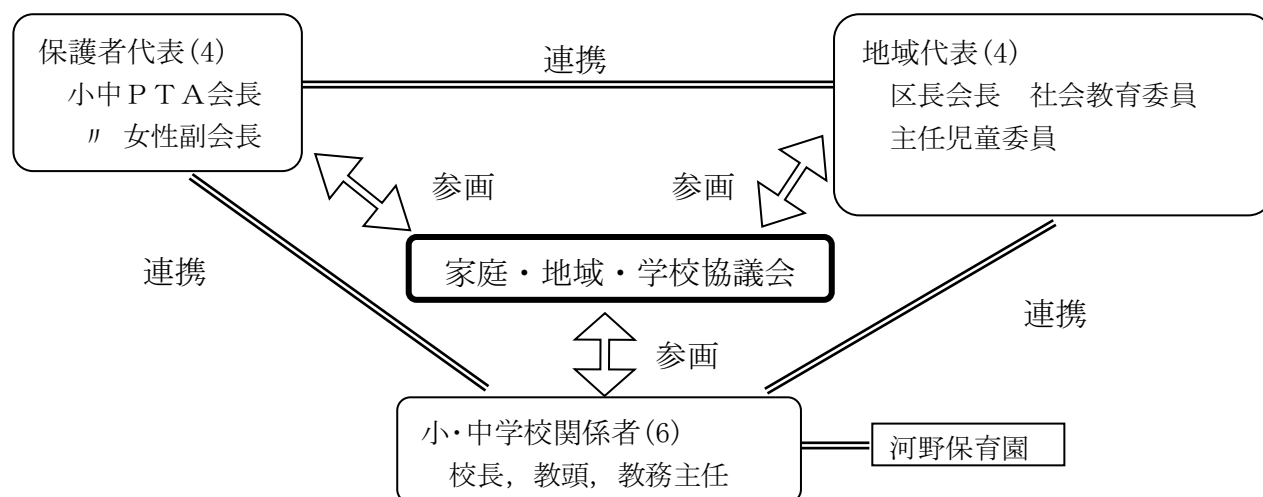


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



※地域コーディネーター(2名)…学校行事等に携わる各ボランティアの代表者

(2) 協議会の内容

○年間3回【6月28日(金), 12月17日(火), 2月21日(金)開催】

○協議内容

小中合同で開催し(1回目と3回目), スクールプランの説明, 学校の様子や問題点, 家庭・地域との連携, 地域の活性化, 学校評価とスクールプランの改善等についての話し合いを行った。

(3) 協議会における成果と課題

小中合同で開催することで, 小中の発達段階に応じた系統的な学校の取り組みの理解につながった。地域の子どもの育て方という視点での発言が委員から多く出た。また, 自転車通学の危険な箇所について話し合いから, バス通学への変更の要望を町当局へ上げ, バス通学を実現することができた。

毎回, 子どもたちを取り巻くネットに関わる話題が多く出されるが, 学校から児童生徒に教えるだけでなく, 保護者にいかに啓蒙していくかが大きな課題となっている。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

河野中学校のふるさと学習として実施している「へしこづくり」と「梅干しづくり」を活動の核とし, 地域の人材との交流を行う活動, さらに料理への工夫とあわせて「食」の大切さに気づかせる活動へと広げる。また, これらの活動を通して, お互いに協力し合う大切さやふるさと河野の自然と食文化という豊かな地域資源に気付き, 生徒一人一人が郷土を愛し郷土の伝統継承と発展に努めようとする心情を養う。

(2) 活動の実際

①へしこづくり (1・2年生) -10月24日, 31日



伝統的な食材の鯖を、1年生がさばきから塩漬け、糠漬け作業、2年生が樽上げとパック作業と分担しながら「へしこ」に加工した。よりおいしく加工するためにはどんな工夫があるか教えていただきながら、へしこづくりに取り組んだ。

②梅干しづくり (全校) -7月3日, 夏季休業中, 11月3日



地元の特産である梅の収穫を全学年で行い塩漬け、土用干し、シソ漬けと学年で分担し梅干しづくりに取り組んだ。出来上がった梅干しを密閉容器に詰め、地区文化祭の会場で配布した。ふるさとの特産でなおかつ昔ながらの製法であることをアピールした。

③『食』について考えよう (3年生) -11月20日



「へしこづくり」で作った「へしこ」を使い、3年生が調理実習を行った。メニューはへしこのパスタとカナッペで、焼いたり生のまま食べたりするのではなく、いろいろな料理に活用できることを体験した。1年生の時から取り組んできたへしこや梅干しづくりを通して学んだことをもとに、地域の食文化やこれからのふるさと河野について考えた。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

梅園との連絡調整, 梅干しづくりの指導支援。へしこづくり及びへしこ料理の指導支援

(4) 特に工夫した事項

- ・へしこづくりでは、1年生の作業と2年生の作業を同日で行うことで出来上がりを確認でき、活動への意欲を高めることができた。
- ・梅干しづくりでは、今まではできた梅干しをビニール袋に入れていたが、密閉容器に入れることで、地区文化祭の参加者に配りやすい工夫ができた。

(5) 成果と課題

関わっていただいた地域コーディネーター等の指導者の方々のお力添えにもより、梅干しもへしこも例年になくおいしいと評判の製品を作ることができた。河野の資源の豊かさを実感できた活動であった。

今後はさらに、「北前船主の館 右近家」等の地域の歴史遺産を活用した活動も計画し、ふるさとへの愛着と誇りを持てるようにしていきたい。